

1 本年度の学校教育目標

「ふるさとを愛し 自ら学び 未来に向かって挑戦する養父っ子の育成」

2 本年度の学校重点目標

- (1) 夢や目標に向かって、主体的に挑戦する態度を育成する。
- (2) 「生きる力」を育む教育を推進する。
- (3) 子ども達の学びを支える仕組みを確立する。
- (4) 学校・家庭・地域が連携し、ふるさとを愛する心を育てる。
- (5) 教職員としての資質能力の向上を図るとともに、業務改善を推進する。

3 学校自己評価結果 (A 優れている B 良い C おおむね良好 D 要改善) 太字は改善方策です

分野	評価項目・取組内容	達成状況	学校の取組状況・改善の方策
開かれた 学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全で美しい学校づくりに取り組む。 ・家庭・地域への情報発信に努め、家庭・地域から信頼される学校づくりに取り組んでいる。 ・地域の人材、自然、史跡等を教育活動に活用し、ふるさと教育に力を入れている。 ・関係機関と連携した指導にあたっている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員同士の連携がよく取れていて、教職員全員で全児童を育てていくという気持ちで推進できた。 ・コロナ禍ではあったが、感染対策をとりながら、自治協議会、地域の方々と連携したクラブ活動、鯉料理体験、ホタル学習等に取り組むことができた。また、運動会、養父っ子DAYなどの活動も、できることを考えて工夫して行うことができた。 ・教育相談等、関連機関と連携した指導に取り組めた。
基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を徹底する指導を工夫している。 ・児童の実態にあった個別指導をしている。 ・「そうあんくんの日」における自立への取組を行っている。 ・読書活動の推進を図っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリルタイム、養父っ子がんばりタイムの補充学習の推進に努めた。 ・児童の言語能力、表現力育成を柱に、「対話」「思いや考え方を伝える」を視点とした授業改善等に努めた。 ・新学習システム、専科等の個に応じたきめ細やかな指導の充実を図った。 ・指導の工夫改善に努め、児童の学力向上に向けた取り組みの継続・充実を図る。 ・月2回の「そうあんくんの日」を集中して取り組むことにより、読書習慣が身につき、自律の心も育成されてきている。
主体的、 創造的な力	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的学習、問題解決的学習を推進し、自ら考える力を育成している。 ・「対話的・主体的で深い学び」の視点での授業改善に努めている。 ・指導内容や方法を創意工夫し、興味・関心を高める授業をしている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営を主軸に対話的・主体的に学ぶ授業づくりを進めた。 ・ICTを活用した授業づくりに努めた。 ・研修の充実を図り、全教員が協力して授業改善に努めた。 ・「思考ツール」を活用し、自分の考えを論理的にまとめたり、伝えたりする力を育成した。 ・今後も対話的で深い学びにつながる計画的・継続的な授業実践を積み重ねる。
道徳・ 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業時数を確保している。 ・道徳実践の場として、全領域を有効に利用し、指導している。 ・「対話」による授業づくりに努めている。 ・副教材や県副読本を有効に活用している。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県道徳副読本活用及び人権集会による人権学習の推進 ・人権感覚を育て、生命尊重、思いやり、自尊感情を育てる道徳的体験活動の充実を図った。 ・副読本の有効活用の仕方を探る。また、「対話」による授業づくりに努める。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・人間的なふれあいを大切にした学級づくりを進める。 ・主体的な児童会活動や学級会活動に努める。 ・縦割り集団活動を通して、協力し合う人間関係づくりを進めれる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、6年生を中心に「コロナでもできる」を合言葉に、運動会、児童会活動を工夫しながら展開させた。 ・縦割り班活動による協力、思いやり等の人間関係づくりを推進した。(あいさつ運動、各種学校行事、児童会行事、たて割り遊び、清掃・訓練等) ・自治力育成のための係や委員会活動及び発表の場を設定した。 ・目的、内容を見直し、子ども達が中心となったより充実した活動を推進する。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の内面理解を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。 ・教職員の共通理解のもとで指導にあたっている。 ・家庭や関係機関と連携を図りながら指導にあたっている。 ・情報機器やネットワーク活用等のルールやマナー、安全な使い方を発達段階に応じて指導する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導、特別支援等の委員会を定期開催し共通理解を図った。 ・特別支援学校、スクールアドバイザー、スクールカウンセラー、通級等の専門機関との連携による個別支援の推進を図った。 ・「いじめ対応チーム」により早期発見、早期対応に努めた。 ・毎月の生活アンケート等により実態を把握し、個に応じた教育支援に努めた。
健康安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・健康面から望ましい生活習慣を育成している。 ・地域と連携し、児童の健康安全を守るための体制づくりをしている。 ・食に対する興味・関心を高め、自立につなげる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が協力し、コロナ感染予防に努めた。 ・縄跳びや体幹を鍛えるメニューを入れた体育授業を実施した。 ・健康安全について保健だよりでの啓発を図った。 ・給食指導におけるマナー・好き嫌い・片付け等の徹底を図った。 ・教職員の緊急時対応研修を実施する等、緊急時の対応についての充実を図った。 ・体幹を鍛える基礎体力づくりを継続する。 ・児童に、「自分の命は自分で守る」意識と安全な過ごし方を身に付けさせる。
教職員の 資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマに沿い授業を大切にした取組を行っている。 ・愛情と責任を持ち、心の通い合う学級づくりを推進し、いじめや体罰のない指導を行っている。 ・使命感と高い倫理観を有し、保護者、地域から信頼される教師を目指し、専門性と実践的指導力の向上に努めている。 ・「勤務時間の適正化」に努めている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・講師招聘による研修を実施し、専門的見地から助言を受け、研修を深めることができた。 ・WEBにはなったが各種研修会に積極的に参加した。 ・体罰、いじめ、人権等、常に情報交換と対応について協議の場を持つようにし、資質能力の向上に努めた。 ・職員会議のペーパーレス化やメールボックスの設置・利用により会議時間や事務処理の時間が短縮でき、業務改善を進めることができた。 ・週一回の定時退勤日が完全実施できた。 ・目的と方法を明確にした研修の充実を図る。
小中一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> ・校内で情報交流し、同一歩調で取り組む。 ・部会の取組を計画的に推進する。 ・聞く姿勢、話型、中学校登校など、学年部会の重点的な取組を充実させる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で1回しかできなかったが、6年生中学校登校により中1ギャップの緩和に努めることができた。 ・授業参観や各部会会議の実施等により研修を深めることができた。 ・視点を明確にし、共通理解・共通実践を図る。

4 総合的な学校関係者評価

- ・コロナ禍で大変な中、行事や授業など、よく工夫していろんなことをしてくれた。
- ・地域の中においても、登下校中に自分からあいさつしてくれる子がいて、気持ちいい。こちらから話しかけないとしない子もいるが、言えば返事をしてくれる。
- ・子どもの笑顔はいい。楽しく学校に行けるようにしてほしい。

5 評価項目ごとの学校関係者評価

学校自己評価の適切さ
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中でも、地域と連携した行事や体験活動等、よく活動できたと思う。 ・クラブ活動も地域・自治協の協力で活動できたことはよかったです。体験活動など地域とのつながりをたくさんしてくれたのはよかったです。地域にはもつといろんな技をもった方がいらっしゃるので、有効に活用してほしい。 ・コロナ禍で仕方ないが、運動会や養父っ子DAYをもっとたくさん的人に観てもらいたかった。人数は少なくなったが、少数精鋭でよくまとまっている。運動会の映像を見ていてもよくわかった。 ・奉仕作業や資源回収など、PTAもよく協力して頑張っていると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・養父っ子がんばりタイムは、分からぬことをしっかりと教えてもらえた、子どもが楽しんで学習できた。 ・何が苦手なのか、先生方がよく分析して指導してくださっている。 ・そうあんくんの日は、毎週だとちょっと慣性的になってきているところもあったので、月2回に集中してできるようになって、親子共斗寧に取り組めるようになったと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使った授業、臨時休校中のオンライン学習等、ICT機器活用によく取り組んでいると思う。 ・授業参観をすることができなかつたが、映像や写真を見せてもらって、子どもたちの様子が分かった。生き生きと取り組んでいると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学校に来られるような学校運営・学級経営を。 ・楽しそうに遊んでいる姿を見る。遊びは人間関係づくりでも大切。
<ul style="list-style-type: none"> ・いい運動会だった。全校生での練習時間を減らしても、ビデオで学年毎に練習するなど、練習方法もよく考えられている。 ・児童会の子達が活躍できるように配慮されている。 ・掃除も協力しながら、よく頑張っているのがわかる。楽しそうだ。
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの話は聞かないが、これから一人一人をしっかり見てほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット活用は素晴らしいが、健康被害が気になる。ブルーライトの影響や姿勢が悪くなることも聞く。子どもの様子をよく見て、使い方の指導等、気をつけてほしい。 ・ずっとマスク生活で、子どもの肺活量が下がっているという話もある。マスク着用時の健康にも気をつけて活動をしてほしい。 ・検温、マスク着用、集団活動の制限、給食の黙食など、これだけ徹底して、感染拡大予防をしていることが素晴らしい。子どももきちんとマスクを着けるなど、マナーをよく守っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育、外国語教育なども入ってきて、先生方の仕事量が多いのではないか。忙しそうないか。 ・金曜日は定時に帰っておられるようだが、健康に気をつけて仕事をしてほしい。 ・ポイントをしづつ仕事をしておられるようで、安心した。よくがんばっておられると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校登校がコロナ禍で1回しかできなかったのは残念だが、1回でもできてよかった。